



しょうびん ぎ  
象限儀 (中)  
北極星などの高度を測るための器具。

よちぜんず  
大日本沿海輿地全図 (中図)  
大図 214 枚、中図 8 枚、小図 3 枚からなる伊能図。忠敬の没後、文政 4 年 (1821) に完成し、幕府に上呈された。(国指定重要文化財)  
©東京国立博物館所蔵  
Image:TNM Image Archives



りょうていしよ  
量程車  
車輪の回転で距離をあらわす器具。



わんからしん  
穹窿羅鍼  
杖の先につけた方位磁石。



# 国宝

# 伊能忠敬関係資料

# 2345点



半円方位盤  
遠くの間や島までの方位を測る方位盤。



伊能忠敬旧宅  
忠敬が 50 歳までの 30 余年を過ごした家。土蔵造りの店舗、正門、書院、土蔵は国指定史跡。



伊能忠敬記念館

Feature: Ino Tadataka and his great achievements

In Edo period (1603-1868), Ino Tadataka (1745-1818) surveyed all over Japan and made the very first accurate maps of Japan. At 17, he was adopted into a wealthy merchant family as its tenth head and he worked hard with a remarkable talent for business. At 50, he went up to Edo to study math, astronomy and surveying. At 55, he set out on his journey to Ezo with some followers to calculate the distance of one degree of meridian line. He spent 17 years drawing up the maps of Japan.

伊能忠敬专辑

在江户时代 (1603-1868), 伊能忠敬 (1745-1818) 开展了全国的地理测量工作, 第一个推出了经实测的日本地图。他于 17 岁当上了伊能家族的家长, 在佐原兴旺家业。55 岁时, 他从事地理测量工作, 时间长达 17 年。

특집 이노 다다타카

이노 다다타카 (1745-1818) 는 에도시대 (1603-1868) 에 전국을 측량하여 일본에서 처음으로 실측 일본지도를 완성시킨 인물. 17 세에 이노 가문의 당주가 되어 사와라 지역에서 가업을 번창시킨 후 55 세부터 17 년간 측량을 실시했다.

平成 22 年 6 月 29 日付けの文部科学省告示により、市所有の「伊能忠敬関係資料」2345 点が国宝に指定された。  
「伊能忠敬関係資料」は、昭和 32 年 2 月 19 日に重要文化財に指定された遺書・遺品に、その後の整理で平成 21 年 7 月 10 日に追加指定された資料を加え、総数 2345 点となった資料群。地図・絵図類、文書・記録類、書状類、典籍類、器具類に分類され、忠敬の全国測量に関する資料のほか、孫の忠誨の資料も含まれている。